MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

ミステリ読書案内

２０２２．７．２８　発行元
第 380 号　伊藤　剛
https://mystery-dokuan.com

MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

歴史・時代ミステリその3

第３７５号に続いて「歴史・時代ミステリ」の第三弾。このテーマの作品を探すのは比較的簡単。得意とする作家の名前はたちまちに思い浮かぶ。だぶらないように一作家一作品で選んでみることにする。

平安時代からふたつの作品

前回は江戸時代のことを書いたが、今回は平安時代～鎌倉初期を描いたものからふたつの作品を選んでみた。『源氏物語』と『平家物語』を題材にしたもの。

今回取り上げた作品とは直接結びつかないが、私は東北地方に住んでいる関係で、「蝦夷えみし」という集団に注目している。平安時代の前九年の役・後三年の役、そしてそこから生まれた奥州藤原氏、更に貴族社会から武士台頭の時代への変遷に興味を持っている。

またどこかで高橋克彦作品などと関連付けながら取り上げる機会があればと考えている。「義経」絡みのミステリは何冊かあるが、そこから離れたところをテーマにしたミステリは少ないように感じている。今までのＮＨＫの大河ドラマも源平合戦中心になってしまう。

歴史研究の世界も私が子どもの頃に比べると格段に進歩したように思う。細かなところの資料が整いつつあり、以前当たり前のように語られていた歴史が、新しい角度から説明されることも増えてきた。人物像に厚みが加えられることは有難い。一方的な解釈に陥らないことが歴史では大切だと思う。

近藤史恵「巴之丞鹿の子」

２００１年幻冬舎文庫。『猿若町捕物帳』シリーズの一冊目。時代は明示されていないが江戸中期頃でもあろうか。

若い娘を狙った連続殺人が起きた。南町奉行所の同心・玉島千蔭は殺された娘が人気歌舞伎役者の「巴之丞鹿の子」という名の帯揚げを身に着けていたことに注目した。早速、殺された娘たちの動向や、歌舞伎の上方下りの女形役者の調査に入っていった。浮かんで来るのが吉原の売っ妓・梅が枝。千蔭自身が取り込まれていきそうになる。そして芝居の書き手なども登場して…。物語のもう一人の主役は呉服屋・三好屋の主人が女中に生ませた娘・お袖。こちらも勝気な性格で知らず知らずのうちに事件に近づいていってしまう。

岡田鯱彦「薫大将と匂の宮」

１９５０年『宝石』４月号に一挙掲載された作品。岡田鯱彦は前年に作家デビューし、本作品が最初の長編作品ということになる。岡田は雑誌に載せた短編作品が多く、長編は十作と少ない。本書は、現在は創元推理文庫版で読むことができる。私の手元にあるのは１９７８年の『別冊・幻影城 No. 15』。日本における『時代ミステリ』の代表作のひとつ。

題名からわかるように『源氏物語』を土台にしている。冒頭、「私」が本郷通りの古書店で桐箱に入った鎌倉時代以前の書物を買ったことが記されている。そこには『源氏物語』の未完の宇治十帖に関わる内容も書かれていたと紹介している。そして具体的な内容に入っていく。語り手は紫式部。物語の中心になるのは、体から得も言われぬ芳香を発すると言われる薫大将と、よろずの香を焚きしめて身から放つ匂の宮。真面目で冷静な薫大将と浮気者の匂の宮という性格の違い。ふたりが中君と浮舟という姉妹をめぐって争奪戦を展開することに。巻き込まれて悩んだ浮舟が宇治の橋から投身する出来事に発展する。そして、中君の方も…。宮中の女房たちの間に殺人ではないかとの不穏な噂が拡がり始める。果たして「匂い」を嗅ぎ分ける能力が生かされるのか…。探偵役として紫式部と清少納言を配置して、平安時代のミステリは進んでいく。

羽生飛鳥「蝶として死す 平家物語推理抄」

昨年４月に東京創元社のミステリ・フロンティアの一冊として出版された本。雑誌『ミステリーズ!』新人賞を受賞した『屍実盛』を中心に配した連作短編集。副題にあるように『平家物語』の流れを踏まえた題材構成になっている。

中心に据えられているのが平清盛の異母弟に当たる「平頼盛」。母が池禅尼であり、平治の乱後に源頼朝の命を助けた過去もあって、源平合戦の中では独自の動きを取った人物。第一話の『禿髪殺し』は清盛が京都の街に放った「禿髪」＝誹謗中傷をしている人物を密告するための赤い衣を着た少年たちのひとりが殺された事件。出世の道から外された知恵者としての頼盛が、清盛との交渉ごとに持ち込むための工夫の段取りが描かれている。当時の平氏の中での人間関係や、出自の謎などが巧みにストーリーに生かされている。第三話に当たる『屍実盛』は、木曾義仲軍勢に追われた平維盛軍のしんがりを務めた老武者・長井別当実盛の遺体を五つの遺体の中から判別する話。何を手掛かりとするかが話の重要なポイントになっている。